

「産学マッチングFS助成制度」に採択された助成件名の概要

NO. 8	サケ頭部の未利用部位を高度有効活用した健康で大型の錦鯉の育成技術の開発
代表開発者①	森山俊介 北里大学・海洋生命科学部准教授
共同開発者②	田代勝男 (株)丸辰カマスイ 代表取締役会長
共同開発者③	山崎慶子 山源錦鯉 代表取締役社長
コーディネーター	いわて産業振興センター 大島修三 事業化プロモーター
助成金額	東経連事業化センター：100万円
助成期間	東経連事業化センター：平成20年7月～21年6月
課題概要	<p>サケ頭部の未利用部位から抽出した魚介類の成長を促進する機能性成分を配合した増体用飼料を活用して、健康で大型の錦鯉を育成し、その生産性を向上させる技術開発を図るものである。</p> <p>森山准教授は、成長促進活性成分を摂取したサケやウナギの成長が促進されることを確認しており、本事業では、同成分を乾燥・粉末化し、それを添加した飼料の開発と成長を効率よく促進させる投餌時期及び投餌間隔等の投与方法を検討する。</p>

(参考1)

東経連事業化センターの概要

1. 組織名 /東経連事業化センター
(正式名称:東北地域新規事業化支援センター)
2. 設立目的/東北地域の競争力強化に向けて、マーケティング支援をはじめとする新産業・新規事業の創出支援に東北地域の産学官の総合力を発揮して取り組み、地域イノベーション・システムの強化を図ること。
3. 活動期間/5年間(平成18年4月～平成23年3月)
4. 組織形態/東北7県の企業支援機関、産学官連携機関、大手企業等を会員とする任意団体
5. 活動期間/5年間(平成18年4月～平成23年3月)
6. 活動経費/年間5千万円程度

以上

「産学マッチングFS助成制度」の概要

1. 目的

本制度は、東経連事業化センターが産学マッチング支援事業で支援する研究シーズ等に対して、「事業化の可能性を的確かつ迅速に評価するための試験等」(FS: フィージビリティ・スタディ)を行い、事業化を推進することを目的とする。本事業を契機に、国等の競争的資金への申請支援も併せて行う。

なお、本事業は、東北地域全体のイノベーション・システム構築に向け、東経連事業化センター、(株)インテリジェント・コスモス研究機構(ICR)、(独)科学技術振興機構(JST)が協力して実施する。

2. 申込対象

大学等の研究者、東北7県の企業

3. 対象となる技術シーズ

事業化のために可能性試験が必要となっている技術シーズとし、以下を条件とする。

- ① 当該シーズの事業化を目指す企業が存在することを基本とする。
- ② 当該シーズを導入することで従来製品に比べての優位性を示すデータが存在すること。
- ③ 事業化に向けて、特許取得済み、または権利化の可能性が高いこと。

4. 選考および結果の通知

評価基準(※)に基づき審査の上、当センター産学マッチング委員会での評価を経て採択有無を決定する。申込は随時受け付け、採択有無については2ヵ月程度で書面にて回答する。

(※) 評価基準

- ① 市場ニーズが高いシーズであること
- ② 事業化の可能性が高いシーズであること
- ③ 新規性・独創性があるシーズであること
- ④ 適切な研究計画で目標達成の可能性が高いこと

5. 助成金額

100~200万円

当センター単独での助成金額は原則100万円が上限とする。ただし、原則100万円を上限に、併せてJSTの助成も受けることができる。

6. 応募手続き

「東経連事業化センターFS助成申込書」を当センターのホームページ(<http://www.nc-t.jp/>)からダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送で提出する。

本申込書をもって併せてJSTからの助成にも申し込むことができる。

以上